

2013年6月3日

沖縄県知事
仲井真弘多 様

**「普天間飛行場代替施設建設事業に係る公有水面埋立承認申請書」の補正書に関する要望書
～市民と社会に補正書を公開してください～**

公益財団法人 日本自然保護協会
理事長 亀山 章
沖縄・生物多様性市民ネットワーク
河村雅美

2013年5月31日、辺野古への「米軍普天間飛行場代替施設建設事業に係る公有水面埋立承認申請書の補正書（以下、「埋め立て補正申請書」）が防衛省沖縄防衛局によって提出されました。

この埋め立て補正申請書は、沖縄防衛局の埋め立て申請書の不備に対して、沖縄県知事が2013年4月12日に指摘した33項目にこたえたものです。

しかし、県内紙報道や、NGOの交渉からは、埋め立てに用いる土砂の有害物質の有無の分析調査が限定的であることや、埋め立て地の正確な「実測平面図」の添付の有無の問題が解決されていないことが懸念されています。また、沖縄県知事により多くの不備が指摘された環境影響評価書を基に、埋め立て申請の添付図書が作成されていることも大きな問題です。これらは、環境影響評価ならびに今回の埋め立て申請手続きに関わってきた市民として、決して看過できるものではありません。

このような沖縄防衛局の補正が十分なものと判断するか否かを沖縄県が判断する手続き過程は、市民への透明性を確保する必要があると考えます。沖縄防衛局の補正がどのようになされたのかを市民に公開し、それが県の要求に応えた十分なものであるか否かの判断基準も、市民の検証過程が必要です。

そのため、沖縄県に、下記のことを要求いたします。

記

1. 「埋め立て補正申請書」の内容を直ちに市民に開示してください。特に県から要求した補正部分への沖縄防衛局の対応についてはウェブサイトで広く公開してください。
2. 沖縄防衛局への再補正要求をするか、あるいは却下をしないで手続きを進める場合は、告示縦覧前に沖縄県として、沖縄防衛局の補正が十分であると判断した理由及び基準を市民に説明する機会を設けてください。

以上